

の皆様のご多数の出席をお願いします。

- ②各委員会にて提出いただきました活動計画書は（ウイリアム・C. カーター次期会長のターゲット「今こそ行動のとき」再度つめるところもあらうと思しますので、その際は至急手直し再提出いただきたい。
- ③各委員会にて、未決済費用等ある場合至急調理下さいますように。
- ④次期地区協議会開催地は室蘭に決定（ポスト室蘭東R.C.）
- ⑤ロータリー地区大会、岩見沢にて開催です。来る10月6日（土）7日（日）2日間、当クラブより20名は出席したいものです、ご計画下さい。
- ⑥各委員長は活動計画に対する「活動報告」を至急提出下さい。

### ★理事会審議事項！

合同事務局備品、新形復写機購入代金各クラブにて均等に負担の件。  
亀田R.C.との合併問題の話は多々問題ありとし再度考える。

### ◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 6. 6	55名	42名	13名		
48. 5. 30	55名	43名	12名	10名	96.23%
在函クラブ	(5/24) 函館R.C. 92.56%	(5/22) 函館東R.C. 97.83%	(5/25) 函館五稜郭R.C. 100%		

### 次回例会日 6月20日

- プログラム 会員卓話「俣野純夫会員のお話」  
プログラム 6月27日「会長幹事、各委員会長退任挨拶」  
プログラム 7月4日「会長幹事、各委員会長就任挨拶」  
プログラム 予定 7月11日 会員卓話「最近の石油事情」 山内 文雄会員  
プログラム 予定 7月18日 会員卓話「下郡山会員のお話」

(ヨシイ)

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市大手町5-10  
日 魯 ビ ル 3 階  
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町 5-10  
国際ホテル TEL (0138) 23-8751  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 6. 20

### 第453回 例会

1972~1973 第49号

Let's take a new look もう一度見直そう

(Roy D. Hickman R.I. 会長指針)



(深瀬鴻一郎会員)

### 本日のプログラム

卓話「ロザンヌ大会と西欧の旅」

俣野 純夫 会員

### 第452回 例会 記録

- ◎司 会 市川 芳夫 会長  
◎ゲ ス ト 函 館 R.C. 梅津 佐助君 他 7 名  
函 館 東 R.C. 森岡 勝君 他 2 名  
函館(五)R.C. 花田 雅宏君 他 1 名  
◎斉 唱 手に手つないで

### ◎会長報告

本日(6月13日) 午後6時より五島軒本店にて本年度最終クラブ・アッセンブリーフォーラムを開催致します。会員の皆様のご多数の出席をお願いします。

### ◎親睦活動委員会

#### ★ニコニコボックス報告

- ・入会記念～山内会員、杉本会員、戸栗会員、青柳会員、神原会員、成田会員
- ・結婚記念～杉本会員、大島会員、深瀬会員
- ・ゴルフ大会で優勝～駒井会員、本間会員

●卓 話 「最近のセメント事情」 大島 寅二郎会員

1、セメント不足で新聞に叩かれた原因

1-1、47年度の経済成長率、民間住宅投資、民間設備投資、政府固定資産形成などセメントに関係の深い諸指数の伸び率想定が大きく狂った。之は政府見透しも民間経済研究所見透しもすべて狂った。

1-2、海員スト（47年4月より7月まで）の影響。

セメントは生産地から需要地区へバラ船による輸送に大きく依存しているの  
で、海員ストの影響で生産工場ストックは満杯で生産減となったので、すべて陸上輸送に依存したが、能力不足で需要地のストックは空に近い状態となり、品がすれとなった。

スト解決後フル生産に入ったが、品不足は解消されず、正月も休まず生産を続けたが47年7月末在庫 203万トンが48年1月末在庫は 256万トン、3月末 200万トン、5月末 254万トンという状況で多少緩和されて来たものの適正在庫として 250万トン位は確保しなければならない。因みにセメントタンカーは 115隻41万トン、バラ貨車 3,200輛12.8万トンである。

1-3、需要の伸び

47年度当初見透しは、国内 6,200万トン、輸出 200万トン＝合計 6,400万トン（対前年比 106.4%）47年10月改訂で国内 6,550万トン、輸出 150万トン＝合計6,700万トン（対前年比 114.4%）結局実績は輸出 103万トンを含めて約 7,000万トンとなり、対前年比 116%となった。輸出は極力抑えて国内に廻した。

1-4、生産設備能力

設備としては月産 800万トン位あるが、装置産業であるので交互に止めて修繕しており、原料、供給能力、製品輸送能力を考慮すればその8割が連続最高能力となろう。

48年度中も各社増設しており、月産 100万トンの能力が増える計算であるが年度中に実際増産出来るのは 600万トン位と推定される。

2、48年度の需要見透し

通産省は 8,080万トンといているが、セメント協会としては、従来対前年比の増加 590万トンが最高実績であったものが47年度は 1,000万トンに近い結果となったので予測に苦しんでいるが7,800万トンに落ち着くのではなからうか。

増設を急げといわれて見ても機械の納期がどんどん長くなっている現在簡単にゆかない。結局此の1年間も可成り苦しいと思われるが、官公需が55～60%を占めているので工事発注の平均化が望まれる。

生コンクリート会社向けが60%足らず、二次製品会社向けが15%あまり、袋で取引きされるのは20%以下である。

3、北海道の様子

47年度は 327万トンの需要実績で対前年比 120.3%であった。（因みに中国 136.1%・九州 126.8%・東北 121.9%・国内平均 118.1%）北海道は国内消費の5%位であるので、48年度は 350万トン位にはならないか。而も通年施工も年々増加しているが、半年間の勝負であるので、需要期は道内産のみでは間に合わないのが実情である。最近の様に港に船がつけられず待たしている現状は困ったことである。

4、セメント輸入の話

中国地方で今年2月セメント不足の声が上るや、敏感な某々会社はいち早く韓国へとんで輸入契約をしたが、今まで輸入したことがないので、荷揚げの労働力や保管する倉庫の適当なものがなく、もたつきながら1～2回も輸入

入に成功したが、その内各社がなだれこんだため、F O B 16ドルが25ドルにはねり韓国・台湾・フィリピン等から若干量入って来たものは値段が高すぎて買手もなく輸入した倉庫わたしで1袋 700円から 1,000円の由。

セメント協会ではF O B 16ドルで2万トン韓国より輸入出来たのみである。何しろ重くて貯蔵のきかない商品であるので、それだけの十分な段取りをしないと商買にならないわけである。

他の品物と違って買占めも売り惜しみも出来ぬ商品ということがよくお分りと思う。セメントは空気中では水分と炭酸ガスを吸収して風化してしまうので、外気と遮断した特別のサイロがないと保管出来ないということである。因みにストックされるサイロの能力は 350万トン位である。

5、コンクリートは造ってから何年位保つものですか？

コンクリートは永久であるという人もありますが？

コンクリートの寿命は永久であると云われております。永久性のあるものでなければ我々は安心してビルの中で仕事をする事は出来ませんし、橋などは心配で通行することが出来ません。しかし、コンクリートにも寿命があるということを考えている学者もあり、研究が進められております。その研究によると鉄筋コンクリート中の鉄筋はアルカリ性のセメントでつまれているために錆びないが、コンクリートは表面から徐々に空気中の炭酸ガスのためにアルカリ性を失なって中性となり、遂に鉄筋のまわりのコンクリートもアルカリ性を失ってしまい鉄筋は錆びるようになる恐れがあるとのこと。

然しこのようにコンクリートが徐々に中性化して、中に進んで行く速さは極く遅いもので、表面からの深さが深くなるにつれて尚遅くなりますから、簡単に鉄筋が錆びるようにはなりません。表面かや5cm位の深さに入っている鉄筋に到着するには実験の結果から推定して大凡 300年位かかるだろうということ。鉄筋が錆るとふくれるのでコンクリートが破れる。すると空気が入り易くなるので錆は益々増大し、速にはコンクリートは破壊してしまふのです。

それでコンクリートの寿命は大凡 300年位だと考えられるわけです。しかし、これは完全なコンクリートで「す」があったりすれば鉄筋はセメントで完全につまれない場合が多いので、300年もかからず数年、甚しい場合には十年位でコンクリートは破壊してしまいます。塩分を含んだ海風を受ける海岸の建物などはかなり早く傷むようです。最近になって30年程度の建物にこういう徴候が出ているものが見受けられます。

またコンクリートは海水等の塩類を含んだ水には侵され易いので鉄筋の入っていないコンクリートでも、海岸地方のコンクリート（防波堤）、化学工場上のコンクリートは寿命が短いようです。

以上の如くコンクリートは完全に永久性があるというわけではありません。しかし、入念に造られたコンクリートならば上記のように破壊に至るスピードは非常に遅いものであるので一応永久といえましょう。

6、セメントに砂糖は禁物

セメントを水で練る時、セメントの 1/1,000・1/10,000という僅かの砂糖があっても固りません。遂に沢山入ると練っている間に固ってしまいます。

砂糖以外でも種類は固ったコンクリートを溶かします。人間の歯もセメントと同様、石灰質ですから虫歯の出来るのと同じわけです。砂糖以外に土壌中に含まれるある種の酸とか燐酸肥料などは大変害があります。

●職業奉仕と人間性

八幡 衡平氏（神経科医）

現代の人間社会はいずこも病的状態を呈し、経済的に伸びた日本に於いても日本人の美しい心は失われてしまった。この人間性をとりもどすこと、これが今後の日本の大きな課題である。

さて人間性とは何か。精神医学を生涯の仕事としている私はまず脳髓について人間と動物との相違を考えた。人間の脳髓を大きく分けると大脳と間脳と小脳に三分される。



大脳皮質を更に分けると新しい皮質と古い皮質に分けられる。以上述べた大脳の中で、人間のみに与えられたのは大脳の新しい皮質の発達で、そこには知識の宝庫があり、人間を特徴づける精神の動きがある。

人間は感情の動物であると言われるが、実は、それは人間特有のものではなく、下等動物的感情であって、人間はこの様な下等動物的感情に支配されてはならない。では人間と下等動物との相違はどこにあるのか。それは人間特有の知恵によって人間的喜びを創造し、この快い知的感情を抱いて、いつもニコニコして楽しく生きることである。知恵によって楽しい感情を自ら創造することこそ人間にのみ可能なことで、そこに人間性がある。自分の身にふりかかる周囲の刺激に反応して、或は喜び或は怒り或は悲しむのは下等動物的感情であって、犬でも可愛がれば尾を振って喜ぶであろう。人間はそんな下等動物的感情に支配されることなく、それよりも上位にある人間的喜び、知的感情を絶えず持つていなければならない。それでこそ日本人は失われた美しい心(人間性)をとりもどすことが出来るのではないかと思う。

さて知恵で考え創り出した人間的喜びとはどんな事なのであろうか。それは無限の可能性を秘める人間の脳細胞により創り出されるものであり、人々によりその喜びは無限に創り出され得るに違いない。試みに私個人の脳細胞により、私個人の知恵により、創り出した人間的喜びを次に述べてみよう。

まず私達人間の視先の生活に就いて想起して見る必要がある。人類の祖先は他の動物から身を護る為にも、又衣食住にも私達には想像も出来ない苦勞を重ねて来た。それに比べて現代に生きる私達は、衣食住とも人々の御世話になって暮らしている。人の世話になったら御恩返しをするのが、人間の道であり、人間は人間の道を歩むのが一番楽しい筈であって、そこに人間的喜びがある。而して社会に対する御恩返しとは、自分の職業に忠実であることである。家庭の婦人は家庭を護ることにより、学生生徒は勉強して頭腦をきたえることによって、皆夫々社会への御恩返しをして、人間の道を歩んでいるのであるが、ただそれを人間的喜びと自覚してないのではないだろうか。これを各自が自覚し、その人間的喜びに浸って終日ニコニコして生活したら、人間社会は本当に平和になり、これこそその根本はロータリーの職業奉仕の精神に通じるのである。

#### ◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 6. 13	55名	39名	16名		
48. 6. 6	55名	42名	13名	11名	96.36%
在函クラブ	(5/29) 函館東R.C. 98.91%	(5/31) 函館R.C. 95.12%	(6/1) 函館(五)R.C. 100%		
月平均	函館東R.C. 98.48%	函館R.C. 93.83%	函館(五)R.C. 100%	函館北R.C. 95.83%	

#### ★お知らせ

##### 第368地区大会開催

10月20日 AM11:00より・10月21日 AM9:00より(於) 洲本市民会館  
登録料 6,000円

#### ★第452回例会欠席者

飯田、岩塚、熊谷、野村、関本、藤林、小笠原、成沢、佐々木、布目、山内(文)、北条吉井、佐藤、平山、石橋 (16名敬称略)

次回例会日 6月27日

プログラム「会長幹事、各委員会長退任挨拶」

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル3階

☎(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10

国際ホテル TEL (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 6. 27

第454回例会

1972~1973 第50号

Let's take a new look もう一度見直そう

(Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

1973年  
終了



(深瀬鴻一郎会員)

#### 本日のプログラム

「会長幹事、各委員会長退任挨拶」

#### 第453回例会記録

- |       |                  |     |           |
|-------|------------------|-----|-----------|
| ◎司会   | 市川 芳夫会長          | ◎斉唱 | それこそロータリー |
| ◎ビジター | 東京 芝R.C. 志摩 夕起夫君 |     |           |
|       | 青 森R.C. 小島 清健君   |     |           |
|       | 函館R.C. 村上 正夫君    | 他7名 |           |
|       | 函館東R.C. 野木 良三君   | 他3名 |           |
|       | 函館(五)R.C. 岡田 芳也君 | 他3名 |           |
|       | 亀田R.C. 小山田日出夫君   | 他2名 |           |